

海技者への道を後押し ～東京海洋大学海洋工学部 1・2 年生を対象とした講演会を実施～

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

活動の一環として、この度、2018年1月17日(水)、19日(金)に、東京海洋大学海洋工学部 海事システム工学科、海洋電子機械工学科の1・2年生を対象に講演会を実施しました。



この度は、海事システム工学科、海洋電子機械工学科に在籍する1・2年生を対象に、今年度で8回目となる講演会を実施しました。両学科において選択できる特定の課程を履修することが船舶職員になるための一つのコースとなっており、本講演会は多くの学生に海運の役割や海技者の魅力を伝えることを目的としています。

1年生対象の講演会では、船長・機関長より海運業界についての説明があった後、現役の若手航海士・機関士が、「学生時代を振り返って」、「海技者を志した動機」、「乗船中の業務と生活」、「陸上勤務について」などのテーマに基づき講演を行いました。

2年生対象の講演会では、船長・機関長が海運業界について説明を行った後、若手現役航海士・機関士が所定のテーマに関して自身の経験を紹介しました。

講演後には、船内のインターネット環境、仕事のやりがいや辛いこと、学生のうちにやっておくべきこと、試験勉強はどのように行ったか、など様々な質問が挙がりました。

人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



海事システム工学科1年生講演会
(左より)

川崎汽船 竹内玲 二等航海士
日本郵船 高橋悠朔 三等航海士
日本郵船 土方健太郎 船長



海事システム工学科2年生講演会
(左より)

川崎汽船 竹内幸太郎 船長
川崎汽船 竹内玲 二等航海士
商船三井 砂川航一 二等航海士
日本郵船 和田亘生 三等航海士



海洋電子機械工学科講演会
(左より)

川崎汽船 川尻隆大 二等機関士
日本郵船 松本力哉 三等機関士
商船三井 福澤雄来 一等機関士
商船三井 内野昌幸 機関長